

株主のみなさまへ

第85期

年次報告書



平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



森永乳業株式会社
証券コードNo.2264

経営方針

当社グループは、「乳の優れた力を基に新しい食文化を創出し、人々の健康と豊かな社会づくりに貢献する」を経営理念としております。この実現のため当社ブランドに対する信用のさらなる向上をめざし、お客様志向の徹底と品質第一主義、成長事業への重点投資、基盤事業での収益力確保、グループ経営の強化を基本方針とし、一層の事業拡大をはかってまいります。

CONTENTS

- 1 経営方針
- 2 株主のみなさまへ
- 3 事業の概況
- 7 研究開発活動
- 8 環境保全・社会貢献活動
- 9 財務ハイライト
- 11 連結財務諸表
- 13 個別財務諸表
- 14 トピックス
- 15 商品のご紹介
- 23 ネットワーク
- 25 会社概要
- 26 株式情報



株主のみなさまへ

ごあいさつ

株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

当社における第85期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

よろしくご高覧賜わりますようお願い申し上げます。



森永乳業グループは、「乳の優れた力を基に新しい食文化を創出し、人々の健康と豊かな社会づくりに貢献する」という経営理念のもとで、一層の経営と業務の効率化に注力し、6つの経営課題に取り組んでまいります。具体的には「事業戦略の明確化」、「差別化商品の開発・育成体制の整備」、「ローコストオペレーションの推進」、「資産圧縮と財務体質の改善」、「人財マネジメントの推進」、「経営品質の向上」であります。

平成20年度は、生乳の買入価格が引き上げられることに加え、前年をさらに大幅に超える原材料価格の上昇が見込まれております。このような状況のなかで、これらのコスト上昇を吸収克服するために、当社は商品価格の改定を実施するとともに、伸ばすべき商品の売上拡大による収益力向上、ローコストオペレーションの徹底を重点課題として取り組んでまいります。

販売面では、乳飲料・ティー、ヨーグルト、デザート、チーズ、アイスクリーム、機能素材、業務用食品、流動食、宅配を売上拡大分野と定め、積極的に拡売をはかってまいります。なお、原材料のコストアップに対処すべく、生産・物流のさらなる改善や販売促進策の効率化などの自助努力を進める一方で、お客様や流通関係のみなさまのご理解を得ながら商品価格の引

き上げ等の浸透をはかってまいります。

生産面では、神戸工場の生産ラインの拡充を進めるほか、別海工場チーズ新棟が本年6月から稼働を開始し、国産ナチュラルチーズの増産をめざしてまいります。さらに、今秋には沖縄森永乳業株式会社の新工場が市乳製品の生産を開始する予定です。

研究開発面では、食品基盤研究所で基礎研究を集中的に進め、食品総合研究所および栄養科学研究所は商品開発機能に特化し、商品開発力を高めることに取り組んでおります。

一方、生産、販売、物流、管理など各処でローコストオペレーションの徹底をはかっております。また、お客様に安全、安心を提供する品質保証体制の一層の強化にも取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

平成20年6月

代表取締役社長 古川 純一

事業の概況

◆ 森永乳業グループ当期の概況

当期のわが国経済は、企業収益の改善などを背景に民間設備投資が引き続き増加し、輸出も好調に推移するなど、景気は緩やかな回復が続きました。しかしながら、原油・原材料価格の高騰に加え、年度後半には米国のサブプライムローン問題による金融市場の不安などから、景気の先行きに後退懸念が高まり、個人消費も低調な推移となりました。

食品業界におきましても、需要が伸び悩むなかで企業間の販売競争は引き続き厳しく、一方で、輸入原料価格および原油価格が上昇した影響で原材料コストが大幅に上昇するなど、厳しい経営環境が続いています。

酪農乳業界におきましては、生乳の生産量は期中から北海道では増産に転じましたが、全国の生産量は前年を下回りました。飲用牛乳の生産量は、他飲料との競合などにより牛乳、加工乳とも前年を下回りました。はっ酵乳の生産量も前年を下回りました。一方、乳飲料の生産量は新製品導入の寄与もあって前年を上回りました。また、国内の乳製品需給は、加工向け生乳の減少や海外の乳製品市況の影響もあり、過剰傾向にあった脱脂粉乳やバターの在庫削減が大幅に進み、一転して逼迫した状況となりました。

このような環境のなかで、森永乳業グループは、お客様のニーズに応えた商品の開発、改良に努め、効率的な販売促進活動を展開するとともに、原材料価格の上昇を吸収すべく売上の拡大に努め、また、ローコストオペレーションの徹底をはかってまいりましたが、減益という厳しい結果となりました。

当期の連結売上高は5,868億4千8百万円（前年比1.5%増）となりました。利益面では、原材料価格の上昇を吸収しきれず、営業利益は78億1千万円（前年比26.5%減）、経常利益は84億9百万円（前年比32.9%減）、当期純利益は20億6千4百万円（前年比61.3%減）となりました。

◆ 森永乳業グループ部門別の状況

部門別の状況（部門間取引消去前）は次のとおりです。

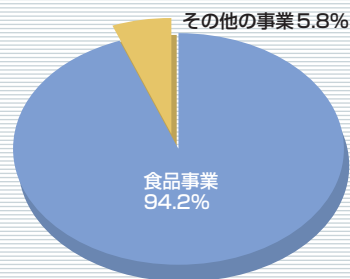
食品事業（市乳、乳製品、アイスクリーム、飲料など）

当期の売上高は5,627億4千1百万円（前年比1.5%増）となり、また、営業利益は230億7千3百万円（前年比22.3%減）となりました。

その他の事業（飼料、プラント設備の設計施工など）

その他の事業につきましては、売上高は347億4千7百万円（前年比1.2%減）となり、また、営業利益は33億6千万円（前年比14.1%減）となりました。

■ 連結部門別売上高構成比



◆ 個別売上高の状況

当期の売上高は、4,500億2千6百万円（前年比2.3%増）となりました。利益面では原材料価格の大幅な上昇の影響が大きく、これを売上増等で吸収することができず、営業利益は24億7千5百万円（前年比50.0%減）、経常利益は56億8千7百万円（前年比25.2%減）となりました。当期純利益は8億3百万円（前年比73.4%減）となりました。

また、財団法人ひかり協会に対する負担金として、当期は16億9千2百万円を支出いたしました。

● 市乳

牛乳類は、「森永のおいしい牛乳」シリーズが前年を上回りましたが、飲用牛乳市場の消費低迷の影響を受け、牛乳類全体

では前年の売上を下回りました。

乳飲料は、カップ飲料の「マウントレーニア」シリーズが大きく売上を伸ばすとともに、「リプトンミルクティー」も好調に推移し、乳飲料全体では前年の売上を上回りました。

ヨーグルトは、4Pタイプのフルーツヨーグルトが好調に推移しましたが、「アロエヨーグルト」、プレーンヨーグルトやその他のフルーツヨーグルトが前年を下回り、ヨーグルト全体では前年の売上を下回りました。

プリンは、主力商品である「焼プリン」に加え、新商品の「黄金比率プリン」が好調に推移し、プリン全体では前年の売上を上回りました。

これらにより、市乳の売上高は2,085億9千万円（前年比1.5%増）となりました。



事業の概況

● 乳製品

調製粉乳は、「森永ペプチドミルクE赤ちゃん」、「森永フォローアップミルクチルミル」などの拡売をはかりましたが、国内市場が縮小傾向のなかで前年の売上を下回りました。また、「クリーブ」、業務用の脱脂粉乳、家庭用のスキムミルクの売上も前年を下回り、粉乳全体では前年の売上を下回りました。

チーズは、クラフトブランドの「スライスチーズ」、「切れてるチーズ」や「パルメザンチーズ」などの家庭用チーズが前年を上回り、また、業務用チーズも前年を上回った結果、チーズ全体でも前年の売上を上回りました。

これらにより、乳製品の売上高は、928億5千7百万円（前年比0.4%減）となりました。

● アイスクリーム

「MOW（モウ）」、「PARM（パルム）」、「チェリオ」や「クリスピーナ」などの売上増加により、家庭用アイスクリームの売上は前年を上回りました。また、業務用アイスクリームの売上も拡大したことから、アイスクリーム合計の売上高は483億6千8百万円（前年比9.0%増）となりました。



● その他

飲料は、リプトンフルーツティーが引き続き好調に推移したことから、前年を上回る売上となりました。また、ゼリー類や流動食も好調に推移しました。

これらにより、その他の売上高は1,002億1千万円（前年比3.4%増）となりました。



◆ 次期の見通し

平成21年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高5,910億円（前年比0.7%増）、営業利益82億円（同5.0%増）、経常利益85億円（同1.1%増）、当期純利益24億円（同16.3%増）を見込んでおります。

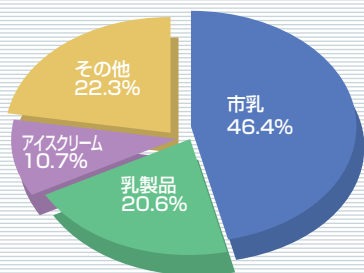
平成20年度のわが国経済は、米国経済の減速、原油など諸資源価格の一層の上昇により、景気の回復は減速傾向になることが見込まれます。また、個人消費についても、先行きに対する不透明感が強まっております。

食品業界におきましては、消費者のニーズが多様化する一方で、BRICs諸国等の旺盛な需要により輸入原料の価格のさらなる上昇や、原油価格や包材価格が高止まる懸念も残り、経営環境は依然厳しいものが予想されます。

酪農乳業界におきましては、牛乳・乳製品の消費拡大に取り組んでおりますが、飲用牛乳については未だ消費が回復するまでには至っておりません。一方で、酪農および乳業相互の発展に向けて国際競争力を強化することが急務となっております。

こうしたなかで、当社グループは伸ばすべき商品の売上拡大、適正価格の形成、ローコストオペレーションの徹底を重点課題として取り組み、収益力の改善をはかってまいります。

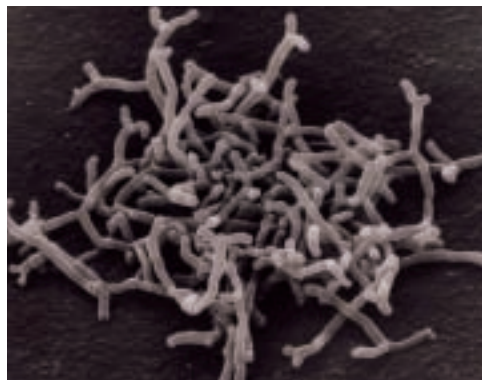
■ 個別品目別売上高構成比



研究開発活動

■ ビフィズス菌

森永乳業は、育児用ミルクの研究により、健康な赤ちゃんのおなかの中に多いビフィズス菌の有効性にいち早く着目し、生きたビフィズス菌の食品への応用を目指して研究開発を行ってまいりました。1971年日本初のビフィズス菌入り発酵乳を発売し、1978年に発売した「森永ビヒダスプレーンヨーグルト」は30年間にわたりお客様のご愛顧をいただき、その間1996年にはビフィズス菌BB536による整腸作用で特定保健用食品の許可を取得致しました。BB536は健康な乳児より分離したビフィズス菌で、これまでに花粉症症状の改善作用やインフルエンザに対する感染防御作用が確認されているほか、世界の多くの企業でその価値が認められ、30カ国以上で育児用ミルクや乳製品、健康食品に利用されております。ビフィズス菌は一般的な乳酸菌に比べて酸や酸素に弱く、特にフルーツヨーグルトなど酸性が強い食品中で長期間生存させることが困難でしたが、長年の応用研究により新技術開発に成功し、2008年3月よりフルーツヨーグルトを含む全ヨーグルトカテゴリーでBB536の応用展開を図り、より多くのお客様にBB536の価値を提供しております。今後もお客様の健康に役立てる商品の開発とその機能の研究を進めてまいります。



■ 医療食

乳を科学することから生まれた「育児用ドライミルク」。森永乳業では、その長年にわたる栄養研究で得た知見と、飲料製造で培った無菌充填技術とを融合させ、1979年に日本初アセプティックブリック入り流動食を発売致しました。当時流動食は、術前・術後での短期的な栄養補給を目的としていたのに対し、近年は通常の食事を摂ることができない方のための「食事」として長期的に使用されております。そのため、美味しさ、科学的データに裏付けられた栄養成分組成、医療・介護の現場での扱いやすさに関する研究開発に取り組み、現在の流動食は、医療施設や介護の現場で不可欠なものとなりました。また、肝臓病や糖尿病など病態別流動食の研究開発にも注力し、2002年に「ヘパス」を、2006年に「DIMS」を、また2007年には胃瘻（いろう）者にも使用できる半固形高栄養流動食「MASTEL」を発売致しました。さらに、食事からだけでは十分な栄養を摂れない方のために果汁飲料「サンキスト®ポチプラス」などの栄養補助食品や嚥下リハビリ用のゼリーやとろみ調整食品等も多数発売しております。これからも医療食分野のリーディングカンパニーとして、「安全・安心」はもちろんのこと、食べてくださる方、使用してくださる方に「優しい」製品を開発してまいります。（なお、医療食製品は、森永乳業グループのクリニコが販売しております。）



■ 環境マネジメント(環境経営)の取り組みについて

森永乳業は1993年に「環境保全業務要綱」を定め、独自の環境保全活動に取り組んでまいりました。その後、1998年より世界標準の環境経営マネジメント規格であるISO14001認証取得を製造事業所にて推進し、2006年の本社認証取得を契機にマルチサイト化を進め、全社的に統一された環境経営システムの構築に取り組みました。その結果2008年3月にマルチサイトの認証を受けました。

また当社グループの生産関係会社については、環境省が策定した「エコアクション21」の認証取得を進めております。

■ バイオマス利用の取り組みについて

森永乳業では環境保全活動の一つとして、太陽光、風力、水力などの自然エネルギーの活用、グリーン電力の購入につ

いても積極的に取り組んでおります。

今回、新たな取り組みとしてバイオマス熱利用設備を神戸工場へ導入します。これは製造工程から発生するコーヒーかすや、コーヒー飲料、ヨーグルト等を再生可能なバイオマスとして、メタン発酵とバイオマスボイラ設備を用いて、製造工程で使用する蒸気を回収する仕組みです。このバイオマスの有効活用により、年間約1,900tのCO₂排出量削減が可能であると試算しています。2007年より着工を開始し、2008年12月の運転開始を予定しております。

食品リサイクル法の改正にも現れているとおり、日本における食を巡る環境は今後ますます厳しくなることが予想されます。そのような状況に対して一つひとつの問題に解決・改善の道筋を見出し、持続可能な社会の構築に協力できる環境保全活動に取り組んでまいります。



神戸工場バイオマス熱利用設備完成予定図

■ M's Kitchen (エムズキッチン)

森永乳業では、出張スタイルの料理教室「M's Kitchen (エムズキッチン)」を開催しております。「美味しい」「簡単」「おしゃれ」をモットーとして、お客様に牛乳・乳製品の特性を活かしたメニューをご提案しています。ただ料理をご紹介するだけではなく、食についての講話をさせていただいたり、お客様から製品についてのご意見を伺ったりと、お客様とのコミュニケーションも大切に活動を行っております。2007年度は全国で1,004回、延べ30,722名の方にご参加いただき、大変ご好評をいただいております。

エムズキッチンのもう一つの柱として、「食育」への取り組みも積極的に行っております。食物や食事の大切さを伝えるための講座はもちろん、火や水を一切使わずに作ることができるメニューを取り揃え、子供たちでも簡単・安全に「食」を学べるような独自のプログラムをご用意しております。

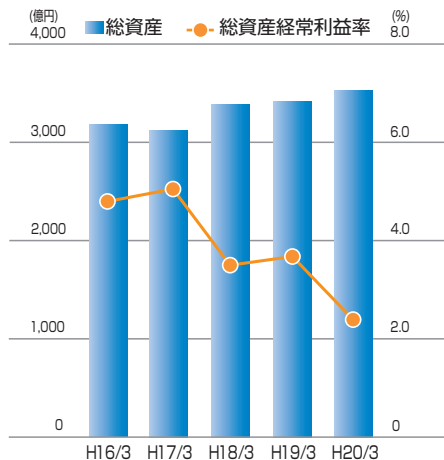
未来を担う子供たちが食に興味をもち、食を選択できる判断力を身につけられるように、そして全てのみなさまが、健やかで楽しい食生活を送れることを目指して、活動しております。



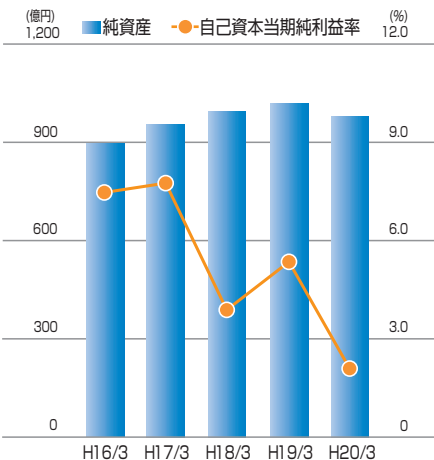
財務ハイライト

連結

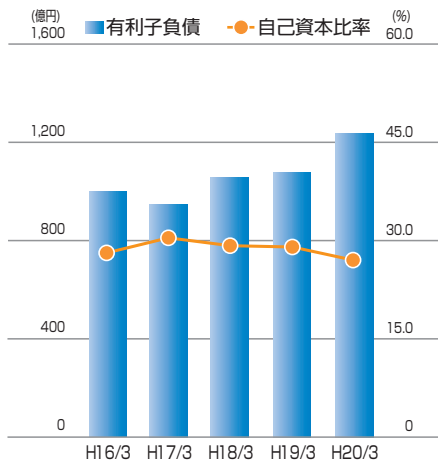
● 総資産/総資産経常利益率



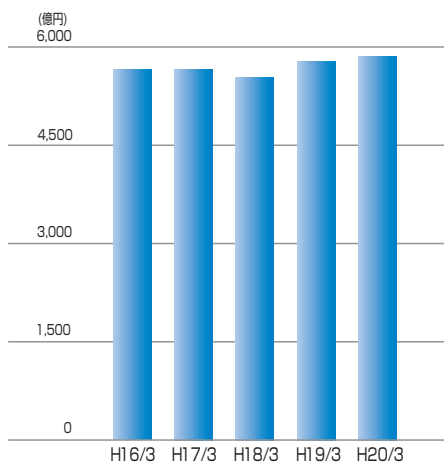
● 純資産/自己資本当期純利益率



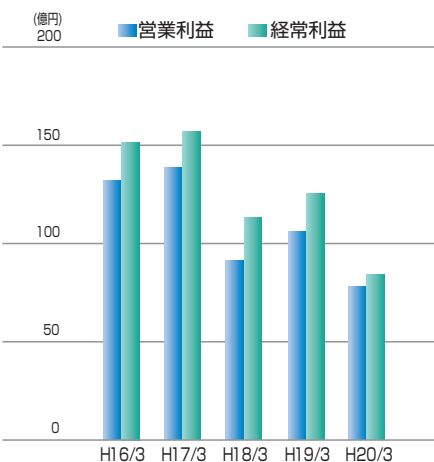
● 有利子負債/自己資本比率



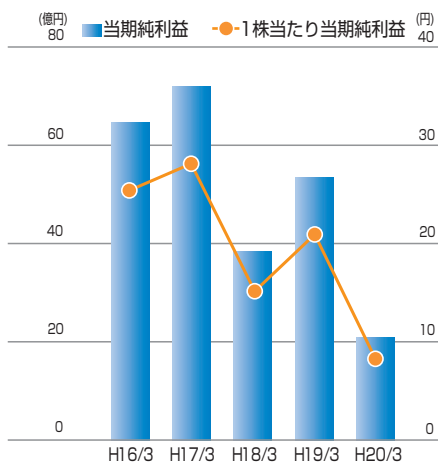
● 売上高



● 営業利益/経常利益



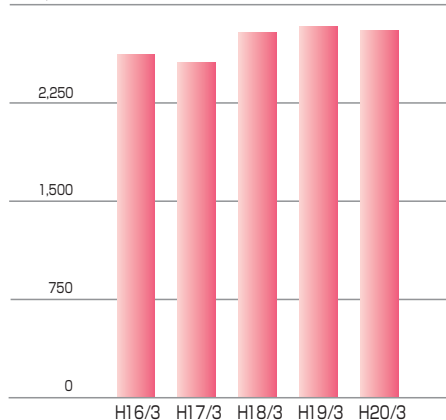
● 当期純利益/1株当たり当期純利益



単体

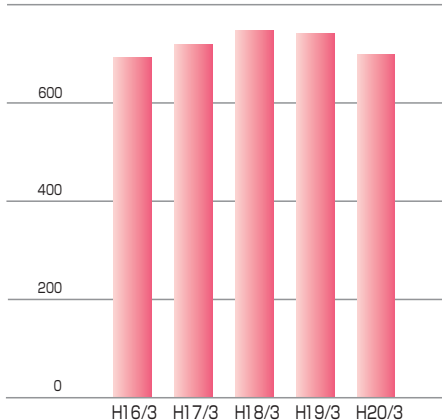
● 総資産

(億円)
3,000



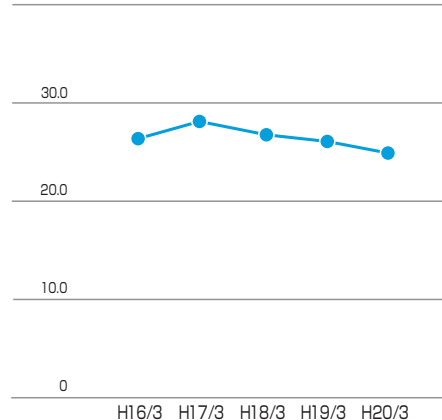
● 純資産

(億円)
800



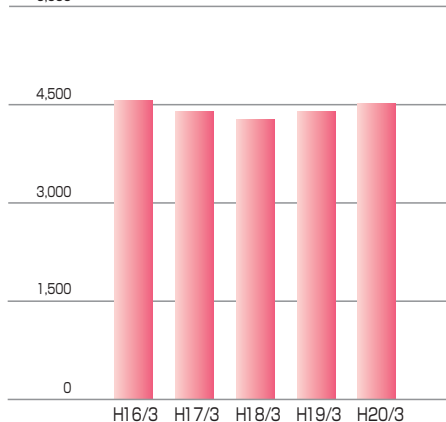
● 自己資本比率

(%)
40.0



● 売上高

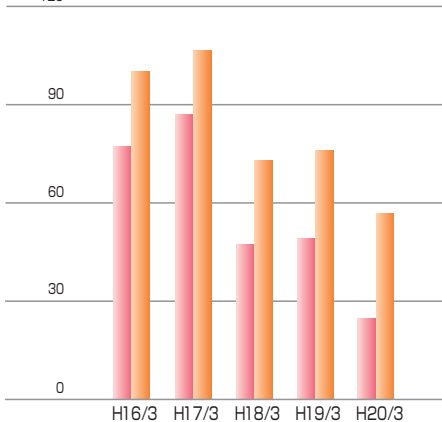
(億円)
6,000



● 営業利益/経常利益

(億円)
120

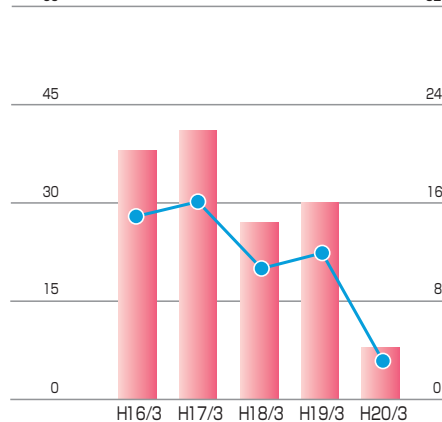
■ 営業利益 ■ 経常利益



● 当期純利益/1株当たり当期純利益

(億円)
60

■ 当期純利益 ● 1株当たり当期純利益 (円)



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表		(単位：百万円未満切捨て)	
科 目	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	
■ 資産の部			
流 動 資 産	110,262	114,227	
固 定 資 産	243,211	228,745	
有 形 固 定 資 産	211,052	180,855	
無 形 固 定 資 産	3,788	3,555	
投 資 そ の 他 の 資 産	28,370	44,335	
資 産 合 計	353,474	342,972	
■ 負債の部			
流 動 負 債	142,710	148,127	
固 定 負 債	113,015	93,038	
負 債 合 計	255,726	241,166	
■ 純資産の部			
株 主 資 本	95,164	95,720	
資 本 金	21,704	21,704	
資 本 剰 余 金	19,446	19,453	
利 益 剰 余 金	54,433	54,936	
自 己 株 式	△420	△373	
評 価 ・ 換 算 差 額 等	462	3,971	
新 株 予 約 権	79	38	
少 数 株 主 持 分	2,042	2,076	
純 資 産 合 計	97,747	101,806	
負 債 純 資 産 合 計	353,474	342,972	

◆ 流動資産

前連結会計年度末が金融機関の休業日で受取手形及び売掛金が通常より多額であったことなどの影響により、前連結会計年度末に比べ39億6千4百万円の減少となりました。

◆ 固定資産

新規の連結子会社分の有形固定資産が加わったことと、当社別海工場や連結子会社の東北森永乳業株式会社の設備投資などの影響により、前連結会計年度末に比べ144億6千5百万円の増加となりました。

◆ 流動負債

一年以内償還予定社債の固定負債からの振り替わりの額が減少した影響もあり、前連結会計年度末に比べ54億1千6百万円の減少となりました。

◆ 固定負債

新規の連結子会社分の社債が加わったこともあり、前連結会計年度末に比べ199億7千6百万円の増加となりました。

◆ 営業利益・経常利益・当期純利益

売上高は増加しましたが、原材料価格の大幅な上昇の影響が大きく、利益面では前連結会計年度に比べ、営業利益は28億1千2百万円、経常利益は41億2千5百万円、当期純利益は32億6千5百万円の減益となりました。

◆ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が減少したことに加え、たな卸資産の増加や、法人税等の支払額の増加もあり、前連結会計年度に比べ96億1千5百万円の減少となりました。

◆ 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出が減少したため、前連結会計年度に比べ117億4千8百万円の支出減となりました。

◆ 財務活動によるキャッシュ・フロー

連結子会社の設備投資に伴い長期借入が増加したため、前連結会計年度に比べ20億9千4百万円の増加となりました。

■ 連結損益計算書 (単位：百万円未満切捨て)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売 上 高	586,848	578,257
売 上 原 価	416,361	407,275
売 上 総 利 益	170,486	170,981
販売費及び一般管理費	162,676	160,358
営 業 利 益	7,810	10,623
営 業 外 収 益	2,888	3,739
営 業 外 費 用	2,289	1,827
経 常 利 益	8,409	12,535
特 別 利 益	1,337	2,596
特 別 損 失	3,682	4,916
税金等調整前当期純利益	6,064	10,215
法人税、住民税及び事業税	3,182	4,087
法人税等調整額	765	620
少数株主利益	52	176
当 期 純 利 益	2,064	5,329

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円未満切捨て)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,216	27,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,641	△35,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,927	△166
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	8
現金及び現金同等物の増減額	△3,454	△7,716
現金及び現金同等物の期首残高	3,759	11,268
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の期首残高増加額	3,679	151
連結子会社減少に伴う現金及び現金同等物の期首残高減少額	△10	—
連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の期首残高増加額	—	55
現金及び現金同等物の期末残高	3,974	3,759

■ 連結対象会社

◆ 連結子会社 (30社)
 エムケーチーズ (株)
 (株) デイリーフーズ
 横浜乳業 (株)
 他 27社

◆ 持分法適用会社 (4社)
 (株) 日酪
 他 3社

■ 連結株主資本等変動計算書 (単位：百万円未満切捨て)

当連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
平成19年3月31日残高	21,704	19,453	54,936	△373	95,720	3,971	38	2,076	101,806
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△1,518		△1,518				△1,518
当期純利益			2,064		2,064				2,064
自己株式の取得				△70	△70				△70
自己株式の処分		△6		24	17				17
連結子会社減少による剰余金減少			△1,008		△1,008				△1,008
持分法適用会社減少による剰余金減少			△40		△40				△40
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△3,508	40	△33	△3,502
連結会計年度中の変動額合計	—	△6	△503	△46	△556	△3,508	40	△33	△4,058
平成20年3月31日残高	21,704	19,446	54,433	△420	95,164	462	79	2,042	97,747

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科目	当事業年度 (平成20年3月31日現在)	前事業年度 (平成19年3月31日現在)
■ 資産の部		
流動資産	97,563	103,352
固定資産	183,186	179,946
有形固定資産	137,005	132,735
無形固定資産	3,155	2,709
投資その他の資産	43,026	44,500
資産合計	280,749	283,298
■ 負債の部		
流動負債	131,655	137,695
固定負債	79,214	71,586
負債合計	210,869	209,281
■ 純資産の部		
株主資本	69,730	70,498
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,482	19,489
利益剰余金	28,963	29,678
自己株式	△420	△373
評価・換算差額等	70	3,479
新株予約権	79	38
純資産合計	69,880	74,016
負債純資産合計	280,749	283,298

損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	当事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	前事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	450,026	440,001
売上原価	337,726	326,651
売上総利益	112,300	113,350
販売費及び一般管理費	109,824	108,397
営業利益	2,475	4,952
営業外収益	5,109	4,266
受取利息及び配当金	3,714	2,807
雑収益	1,394	1,458
営業外費用	1,897	1,617
支払利息	1,424	1,295
雑損失	472	322
経常利益	5,687	7,601
特別利益	909	2,458
特別損失	3,958	3,883
税引前当期純利益	2,638	6,176
法人税、住民税及び事業税	1,353	1,937
法人税等調整額	481	1,218
当期純利益	803	3,021

株主資本等変動計算書

(単位：百万円未満切捨て)

当事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	株主資本					評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成19年3月31日残高	21,704	19,489	29,678	△373	70,498	3,479	38	74,016
事業年度中の変動額								
固定資産圧縮記帳積立金取崩			—		—			—
固定資産圧縮記帳積立金積立			—		—			—
別途積立金積立			—		—			—
剰余金の配当			△1,518		△1,518			△1,518
当期純利益			803		803			803
自己株式の取得				△70	△70			△70
自己株式の処分		△6		24	17			17
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△3,409	40	△3,368
事業年度中の変動額合計	—	△6	△715	△46	△768	△3,409	40	△4,136
平成20年3月31日残高	21,704	19,482	28,963	△420	69,730	70	79	69,880

トピックス

● 東北森永乳業(株)設立、 仙台工場が本格稼働

当社グループの宮酪乳業(株)と秋田協同乳業(株)は、昨年12月1日をもって経営統合し、東北森永乳業(株)が設立されました。これにより、昨年9月より生産を開始した宮酪乳業(株)仙台工場は新会社の仙台工場となり、同工場に生産が集中されるとともに、秋田協同乳業(株)は、新会社の秋田工場となり、2工場体制として新たなスタートを切りました。

仙台工場は、敷地面積約39,400㎡、製造棟総床面積約9,800㎡の広さで、「高品質化による安全・安心の実現と環境にやさしい工場」「自動化・機械化による生産性の高い工場」「将来の規模拡張に対応できる工場」というコンセプトのもとに建設された工場であり、軽量ビン製品、紙パック製品を生産しています。東北森永乳業(株)は、お客様にとって価値のある商品の提供をめざし、東北地区の生産と物流を担う会社として地域に貢献してまいります。



● 「黄金比率プリン」新発売

当社は1971年に日本で初めて量産デザートを発表して以来、様々な種類のプリンを発売し、拡大するプリン市場を牽引してきました。

新商品「黄金比率プリン」は、全国のプリン事情に精通している(株)ナムコでナンジャ・タウン「プリン博覧会」などを手がける『最強のプリン発掘隊』が選定した、人気で当地プリンを科学的に分析し、卵黄と生クリーム of 絶妙なバランスを見出したプリンです。このプリンは、人が最も美しいと感じる不思議な比率のことを「黄金比」というように、人がおいしいと感じるバランスという意味合いを含め、「黄金比率プリン」と命名しました。濃厚でありながら、さっととろける滑らかな口どけを実現し、昨年10月の発売以降、そのおいしさが反響を呼び、ご好評をいただいています。



● インドネシアの合併会社 調製粉乳工場が稼働

昨年4月、当社が30%出資しているインドネシアのPT. Kalbe Morinaga Indonesia (KMI社)で新工場の開所式が行われました。当日は、合併の相手方であるPT. Kalbe Farma Tbk. (カルベ社)やライセンス先である同グループ内のPT. Sanghiang Perkasa (サンギャンペルカサ社)の幹部に加え、当社の幹部も参加しました。また、工場建設関係の方々も招待され賑やかに執り行われました。インドネシアを代表する企業であるカルベ社が日本企業と設立した合併会社ということで注目度も高く、多数の地元メディアが取材に訪れました。

KMI社の年間の生産能力は約12,000トンで、インドネシア国内向けに育児用調製粉乳と幼児用調製粉乳を製造しております。生産については、初年度から順調に稼働しています。



TOPICS

商品のご紹介



チルドドリンク

森永のおいしい牛乳

牛乳にやさしい、
新製法で作った、
新しいおいしさ。



森永のおいしい 低脂肪牛乳 (一部地区発売)

生乳100%使用。
新製法で作った、
新しい低脂肪乳。



森永のおいしい 無脂肪乳 (一部地区発売)

独自製法で作った、
しっかりとコクのある
新しい無脂肪乳。



森永カルシウムの達人 (一部地区発売)

ミルクカルシウム
100%使用。
乳飲料で初めての
カルシウムによる
特定保健用食品。



ピクニックプリズマ

コーヒー／ストロベリー／フルーツ／ヨーグルトテイスト／カフェ・オ・レ
人気のピクニックがプリズマ容器でフルラインナップ。



ピクニック

ストロベリー／フルーツ／
ヨーグルトテイスト／カフェ・オ・レ
飲みごたえのある250mlシリーズ。

森永マミー

なつかしの味、
かわらぬおいしさ。



贅沢倶楽部

ミルクのコクが織りなす、
贅沢な味わい。



珈琲ラテ

苺ミルク

抹茶ラテ



香り高いエスプレッソに
ミルクを加えた
本格カフェラテ。

マウントレーニア



プレミアム 香味ローストラテ
プレミアム 薫るエスプレッソ
カフェラッテ
エスプレッソ
ノンシュガー
キャラメル カスタード
ビターモカ

New



サンキスト100%
果汁にこだわったハイクラスなおいしさ。

サンキスト 産地厳選
果実の産地にこだわった甘さ控えめの清涼飲料水。



オレンジ
アップル
グレープフルーツ
津軽の旬摘み りんご
山形の旬摘み ぶどう

SUNKIST GROWERS, INC.
 のトレードマークライセンスにより
 畜産乳業の販売する製品です。
 SUNKIST は
 SUNKIST GROWERS, INC.
 SHERMAN OAKS, CALIFORNIA
 91423 U.S.A. の登録商標です。



リプトンが厳選した
紅茶と果汁、ミルクの
ハーモニー。

Fine Selection
シリーズ

New



レモンティー
ミルクティー
ピーチティー
ストレートティー
ティーオレ
ティーオフルーツ
 (カベルネソーヴィニヨン)

商品のご紹介



チルドデザート

ビヒダスヨーグルト

生きたまま腸まで届く
ビフィズス菌BB536配合。
特定保健用食品。



こだわり

ビヒダスヨーグルト4カップ

便利な小分けタイプで、マイルドな
味わいのプレーンヨーグルト。



ビヒダスマゼておいしいヨーグルト

プレーンヨーグルトの下に果肉入り
ソースを敷いた二層タイプのヨーグルト。



ビヒダスヨーグルト低脂肪 ハンディースタイル

朝の忙しい時間や仕事の合間に片手で簡単に食べられる、スプーンいらすのヨーグルト。



アロエヨーグルト

おかげさまでロングセラー。
カラダのキレイをつくるヨーグルトです。
「緑」と「赤」食べ比べてお楽しみください。



ビヒダスマろやかヨーグルト

朝食やおやつに食べやすいビフィズス菌入りヨーグルト。



ビヒダスアロエヨーグルト



具だくさんフルーツと ヨーグルト

たっぷりのフルーツとナタデココが
入ったヨーグルトデザート。



ラクトフェリン200 ヨーグルト

人体に重要だと考えられている
注目素材「ラクトフェリン」を配合。



焼プリン
ほろ苦いカラメルソースで、
飽きのこない味わい。



**本日のスイーツ
カスタードプリン**
なめらかカスタードプリンに
ホイップクリームをトッピング。



**本日のスイーツ
コーヒーゼリー**
香ばしい味わいの
コーヒーゼリーに
ホイップクリームをトッピング。



フルーツゼリー3色3連
ストロベリー、グレープ、オレンジ、3つのおいしさ。



森永プリン
口あたりなめらか、プリン
のスタンダード。



オレンジゼリー



グレープゼリー

お子様からお年寄りまで大人気のフルーツゼリー。

SUNKIST GROWERS, INC. のトレードマークライセンスにより森永乳業の販売する製品です。 ©2014 SUNKIST GROWERS, INC., SHERMAN OAKS, CALIFORNIA 91423 U.S.A. の登録商標です。



黄金比率プリン
生クリームと卵黄のおいしい比率
(黄金比率) で作ったプリン。



**Petit Pot (プチポ)
たまごのとろふわプリン**
小さなカップにおいしさをぎゅっと詰めました。
やわらかなくちだけのプリンです。



**果実が食べたい!
グレープフルーツ**
つぶつぶ果肉たっぷり
のグレープフルーツゼリー。

商品のご紹介



アイスクリーム

pino (ピノ)
ひとくちアイスの代名詞。



MOW (モウ)
ミルクバニラ/ミルクいちご/チョコレート/
ミルクバニラモナカ/ミルクバニラ&ミルクいちご
濃厚ミルクのクリーミーな味わい。



PARM (パルム)
チョコレートバー/バニラバー/エスプレッソバー/
アーモンド&チョコレートバー
大人も満足する、おいしさ本位の本格派アイスクリームバー。

チェリオ
チョコ好きのための
チョコレートバーアイス。



クリスピーナ
濃厚な食べ応えを、リズム良く軽快に楽しむ
シュガーコーンアイス。





チルド乳製品



スライスチーズ

サンドイッチ、トーストをはじめ
いろいろなお料理に。



とろけるスライス



チェダースライス



**まるごと北海道
モzzarella**

北海道の新鮮な原乳を
使用した本格派。



100%パルメザンチーズ

ひとふりでお料理の味を
引き立てます。

**カマンベール入り
6Pチーズ**

フランス産「生」カマンベールを
使用した、とろけるように
なめらかなおいしさ。



切れてるチーズ

ナイフ不要、
はがすだけで
食べられます。



**フィラデルフィア
クリームチーズ**

適度な酸味と豊かなコク。
チーズケーキや
いろいろなお料理に。



北海道バター

北海道のフレッシュな
生乳から作りました。



商品のご紹介



クリープ クリープライト



詰め替え用ガセット クリープ・ポーション

豊かなコクと自然な甘さがコーヒーの美味しさをより一層引き立てます。

食品ドライ

森永ミルク 加糖れん乳

いちごはもちろん、パンやコーヒーなどにも幅広くお使いになれます。



森永 ラクトフェリンスキム

話題のラクトフェリンと
ミルクカルシウム入り。



森永スキムミルク 森永コラーゲンスキム

低脂肪・高たんぱく。
料理にも大活躍。

ミルクカルシウムとコラーゲンを手軽に摂取いただけます。



育児食品・栄養食品



森永ドライミルク

はぐくみ

母乳に近い栄養成分。
ラクトフェリン配合。



森永ペプチドミルク

Eお母さん

妊娠・授乳期のお母さんが
牛乳代わりに飲める
栄養補給飲料。



森永フォローアップミルク

チルミル

満9ヵ月～3歳頃までの
栄養補給に。
ラクトフェリン配合・鉄分強化。



りんご

3ビンパック

赤ちゃんにやさしい
50%果汁飲料。



森永ペプチドミルク

E赤ちゃん

ミルクのアレルゲン性に
配慮しています。
※ミルクアレルギー疾患用
ではありません。

イオン飲料 もも

体への吸収が良い
低浸透圧タイプの
水分補給飲料。





宅配専用商品

月極めご契約のご家庭に、1日当たり1本からお届けします。
専用の保冷受箱などもご用意し、皆様の健康づくりをお手伝いします。



森永カルダス

ミルクカルシウム2倍
(当社・普通牛乳比)、
ビフィズス菌 (BB536) 20億以上、
鉄分1mg。
特定保健用食品。



森永 ラクトフェリン Fe

ラクトフェリン100mg、鉄分6mg、
ビフィズス菌 (BB536) 36億以上、
ミルクタイプの
ラクトフェリン入り低脂肪飲料。



絹ごしとうふ

長期保存できる完全無菌パック。
厳選した大豆を使用し、
作りたてのおいしさ長持ちの
絹ごしとうふ。



毎朝爽快

ラクチュロースで
おなかの調子を良好に。
特定保健用食品。



もろみ黒酢

純玄米黒酢8ml、
琉球もろみ酢8mlを配合。
飲みやすいりんご味。



ラクトフェリンとビフィズス菌

いきいき元気のむヨーグルト/
おなかに配達ヨーグルト
ラクトフェリン100mg、
ビフィズス菌 (BB536) 100億以上、
ラクチュロース0.1gなどを配合。

お問合せ先

フリーダイヤル 0120-369-465

ミルク ヨロコブ

受付時間 月～金9:00～17:30
(祝日を除く)

<http://takuhaimilk.ne.jp>

森永ベビーフード

ママの気持ちで作った
安心なベビーフードです。
(7か月、9か月、1才頃～)

New

New



レトルトシリーズ

3つの
メニューセット



New

おでかけに便利な
ごはんとおかずの
ランチセット



森永幼児食



野菜キッズ
野菜をおいしく楽しく
食べられます。

ネットワーク

◆ 国内ネットワーク

森永乳業は、本社・支店、工場、研究所など38事業所および関連会社を中心に、グループ企業、海外提携企業など、世界にまでそのネットワークを広げています。



工場見学のご案内

■ 東京多摩工場/大和工場

主な製造製品

東京多摩工場：牛乳、果汁飲料、
ヨーグルト

大和工場：クリープ・育児用粉ミルク

住所：東京都東大和市立野4-515

1団体5~60名でいたします。

お子さまの見学は小学生から承っております。

お申し込み・お問い合わせ先

森永乳業(株) (本社) お客さま相談室

☎0120-369-744

■ 中京工場

主な製造製品：牛乳、アイスクリーム

住所：愛知県江南市中奈良一ツ目1番地

1団体15~90名でいたします。

お子さまの見学は小学生から承っております。

お申し込み・お問い合わせ先

森永乳業(株) (東海支店) お客さま相談室

052-936-1522

■ 神戸工場

主な製造製品：乳飲料、ヨーグルト、
流動食

住所：兵庫県神戸市灘区摩耶埠頭3番

1団体15~100名でいたします。

お子さまの見学は小学生から承っております。

お申し込み・お問い合わせ先

森永乳業(株) (関西支店) お客さま相談室

06-6341-0271

◆ グローバルネットワーク

日本でもすっかり人気定着している「リプトン」「サンキスト(R)」「クラフト」などは、実は森永乳業の提携ブランド。グローバル企業との固いパートナーシップ、森永乳業の実力は世界で評価されています。



提携ブランド



Kraft Foods Inc.

クラフトは米国最大の食品企業。1970年に技術提携。



Unilever Japan Beverage K.K.

Liptonは英国の世界最大の紅茶メーカー。1984年に技術提携によりLipton Japan K.K. が誕生。2005年社名を変更。



Sunkist Growers, Inc.

米国のサンキスト(R)といえば、フルーツの代名詞。日本では森永乳業が果汁やデザート製品を幅広く販売。

Sunkist サンキスト(R)はSUNKIST GROWERS, INC., SHERMAN OAKS, CALIFORNIA 91423 U.S.A.の登録商標です。



FAUCHON

フランスが世界に誇る食のブランド。日本では森永乳業グループがアイスクリームを製造・販売。

現地法人・合併会社



Morinaga Nutritional Foods, Inc.

1985年米国ロサンゼルスに設立。森永の技術で長期保存が可能になった「TOFU」を全米で販売。



Morinaga Nutritional Foods Deutschland GmbH

1995年ドイツシュツツガルトに設立。現地でビフィズ菌など機能性原料を販売。



Fromagerie Lorraine de Vezelise S.A.

1991年、三井物産株式会社およびフランスの4社とともにフランス国内に設立。ナチュラルチーズを製造。



Milei GmbH

1972年に設立。日独の合併企業。乳糖、ホエイ粉末、ラクチュロース、ラクトフェリンなどを生産。



Harbin Morinaga Milk Ltd.

1994年中国国営企業および三井物産株式会社とともに、ハルビン市に設立。中国国内で育児用粉乳を製造・販売。



PT. Kalbe Morinaga Indonesia

インドネシア最大の製薬メーカーであるPT. Kalbe Farma Tbk. (カルベ社) との合併による、育児用粉乳の製造会社。

会社概要

■ 会社の概況 (平成20年3月31日現在)

商号	森永乳業株式会社 MORINAGA MILK INDUSTRY CO.,LTD.
創業年月日	大正6年9月1日(日本煉乳株式会社)
設立年月日	昭和24年4月13日
資本金	21,704,355,355円
従業員数	3,068名
会計監査人	新日本監査法人 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル
主要な事業内容	市乳(牛乳、乳飲料、ヨーグルト、プリン)、 乳製品(練乳、粉乳、バター、チーズ)、 アイスクリーム、飲料、流動食など 飼料、プラント設備の設計施工など

■ 役員 (平成20年3月31日現在)

代表取締役会長	大野 晃
代表取締役社長	古川 紘一
取締役副社長	片岡 伸好
専務取締役	宮原 道夫
常務取締役	石井 忠
常務取締役	野口 純一
常務取締役	八木 正博
取締役	木村 康二
常勤監査役	高岡 昌昭
常勤監査役	北原 彰
監査役	八重田 敏夫
監査役	武山 信義

■ ホームページのご案内

森永乳業のホームページは、より商品の魅力をお伝えするためトップページを大幅にリニューアルしました。また、「森永ビヒダスヨーグルト」や「黄金比率プリン」など商品オリジナルサイトを順次追加しております。

さらに、「商品情報」や「CM情報」、「ヘルシーキレイレシピ集」の情報の更新、出張スタイルの料理教室「M's Kitchen」のご案内や、皆様の生活をサポートする機能性素材「ラクトフェリン」のご紹介など、内容の充実をはかっております。

また、文字拡大や音声での読み上げといった閲覧支援ツールなど、快適にお使いいただけるための機能を取り入れております。

ぜひアクセスしてみてください。

ホームページアドレス

<http://www.morinagamilk.co.jp>

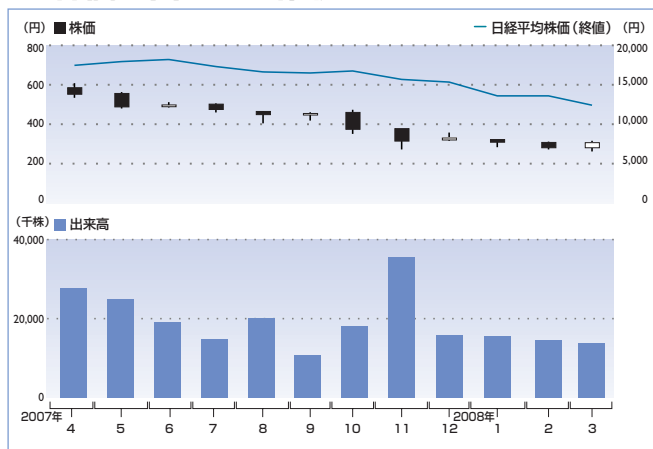


株式情報

■ 株式の状況 (平成20年3月31日現在)

発行可能株式総数	720,000,000株
発行済株式の総数	252,935,475株 (自己株式1,041,743株を除く)
株主数	36,472名

■ 株価・出来高の推移



■ 大株主 (平成20年3月31日現在 上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
森永製菓株式会社	26,248千株	10.37%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,299千株	5.25%
株式会社みずほ銀行	12,431千株	4.91%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,754千株	4.64%
株式会社みずほコーポレート銀行	7,303千株	2.88%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	6,956千株	2.75%
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,942千株	2.74%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・ 株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	6,644千株	2.62%
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,617千株	1.82%
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	4,022千株	1.59%

(注) 出資比率は発行済株式総数から自己株式数を控除した数に基づき算出しております。

■ 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
公告方法	当会社の公告は、電子公告により行います。 事故その他やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載する 方法により行います。

株主名簿管理人	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	(連絡先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
同取次所		

株主優待のお知らせ

株主のみなさまからの日頃のご支援にお応えするとともに、当社取扱商品に対するご理解を深めていただくことを目的として、9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載又は記録された1,000株(1単元)以上ご所有の株主のみなさまに、11月に当社商品「絹ごしとうふ」をお届け申し上げます。

事務手続きのお知らせ

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買増・買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479(24時間・自動音声対応)にて承っておりますので、ご利用ください。
- 配当金をゆうちょ銀行貯金口座へお振り込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので株主名簿管理人に指定書用紙をご請求ください。

ご注意 当社は中間配当制度を採用しておりません。



生きて腸まで届く。

100mlあたり
20億以上の
ビフィズス菌が
生きています。

ビフィズス菌 BB536

ビヒダスヨーグルトに含まれる
森永独自のビフィズス菌**BB536**が
生きてそのまま腸まで届くことにより

- ①腸内のビフィズス菌が増えます。
- ②腸内環境を良好にします。
- ③おなかの調子を整えます。



厚生労働省許可
保健機能食品（特定保健用食品）

プレーンヨーグルト500g

ビヒダス®ヨーグルト



おいしいをデザインする
森永乳業株式会社
東京都港区芝五丁目33番1号
電話03-3798-0111

